

いっしょにつくろう！ 私たちの未来、健康、 支える環境

オンライン開催

エコチル調査コアセンターオリジナルキャラクター ▶
エコロン&チルルン



第12回

子どもの健康と環境に関する全国調査

エコチル調査シンポジウム

エコチル調査とは

環境中の化学物質が、子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるために実施している調査。全国約10万組の親子が調査に参加しています。



エコチル調査 検索 <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/>



むらやま さらり
村山 輝星 さん



まさと
魔裳斗 さん

エコチル調査は2011年にスタートし、調査がはじまった時にはお母さんのおなかの中にいた赤ちゃんも、2022年には最年長の方が11歳に。全国約10万組の親子のみならずのご協力によって、健康と環境の関係についてたくさんの方がわかってきました。今回はお子さまたちにも楽しんでいただけるプログラムから始まり、調査でわかったことをご紹介します。お子さまも大人も、さらりちゃんと魔裳斗さんといっしょに私たちの未来、健康、環境について考えていきましょう！

プログラム

〈司会〉武田 真梨子(サイエンスコミュニケーター)

14:00

オープニング(環境省)

お子さまにもオススメ!

実験もあります

講演 1

(14:05~14:40)

おしえて!
身の回りの化学物質と
エコチル調査



ゲスト
村山 輝星 さん

中山 祥嗣 さん 国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

講演 2

(14:45~15:15)

調査でわかってきたこと

アレルギーやビタミンDに関する研究成果を紹介!

ゲスト
魔裳斗 さん

倉岡 将平 さん エコチル調査熊本大学サブユニットセンター

小島 令嗣 さん エコチル調査甲信ユニットセンター

パネル
ディスカッション
(15:20~15:55)

これからのエコチル調査
~未来の健康と環境のために~

○コーディネーター

山縣 然太郎 さん エコチル調査戦略広報委員会委員長

○パネリスト(五十音順)

ゲスト
魔裳斗 さん
村山 輝星 さん

大矢 幸弘 さん エコチル調査メディカルサポートセンター長

上島 通浩 さん エコチル調査運営委員会委員長

15:55~16:00

クロージング(環境省)

日時

2023年

2月19日(日)

14:00~16:00(予定)

オンライン開催(ライブ配信)
事前申込不要・参加無料



●YouTubeライブ

<https://youtu.be/3hQWr8wn7BU>

●視聴者アンケート

<https://enquete.cc/q/ecochil-sympo>



●アンケート受付期間

受付開始▶2月19日(日)シンポジウム当日

受付終了▶2月27日(月)12:00まで

お問合せ

第12回 エコチル調査シンポジウム事務局
(一般社団法人環境情報科学センター内)

T E L ▶ 03-3265-8810 (9:30~17:30)

MAIL ▶ ecochil-sympo@ceis.or.jp

※本シンポジウムは、環境省からの業務委託により一般社団法人環境情報科学センターが事務局を務めています。

登壇者プロフィール



むら やま きらり 村山 輝星さん

タレント

ゲスト



2010年4月東京都生まれ。小学6年在学中。5歳から芸能活動を開始。“きらりちゃん”の愛称で親しまれ、NHK Eテレ『えいごであそぼ with Orton』2017～2020年度のレギュラー出演をはじめとして、バラエティ番組やCMなど、メディア出演多数。10歳からYouTube『村山輝星のきらりチャンネル』を開設し、チャンネル登録者数は約7千人。特技のトライアスロンでは、キッズトライアスロン大会へ出場、24時間テレビで計51.5kmを完走している。

ま さ と 魔装斗さん

元K-1世界王者、タレント

ゲスト



1979年3月千葉県柏市生まれ。K-1 WORLD MAX 2003, 2008 世界王者。現在は、タレント、格闘技解説者としてテレビ番組・CM出演・講演など多方面で活躍する。YouTubeチャンネルの登録者数32.5万人、Instagramのフォロワー 38.3万人。3児の父であり、2022年イクメンオブザイヤー「スポーツレジェンド部門」を受賞している。

なか やま しょうじ 中山 祥嗣さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

講演者

岡山大学医学部、大学院医学研究科卒業。専門は公衆衛生、環境保健、曝露科学。社会医学系専門医・指導医。2005年U.S. Environmental Protection Agency: EPAの招聘を受け、以降6年間、EPAで新規汚染物質の曝露評価およびリスク管理に携わる。2011年より国立環境研究所。エコチル調査を環境医学の面から支えるかたわら、曝露科学に関してEPAやEU、アジア諸国との共同研究を進めている。筑波大学大学院客員教授、聖路加国際大学連携大学院教授。

くら おか しょうへい 倉岡 将平さん

エコチル調査熊本大学サブユニットセンター
熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座助教

講演者

専門は胎児医学、小児成育学、発生生物学、腎臓内科学。日本小児科学会専門医、日本腎臓学会専門医。小児腎臓科医としての勤務の傍ら、iPS細胞によって作成された腎臓オルガノイドを用いて腎臓疾患の病態解明ならびに新規治療法の開発に向けた研究を行っている。また、エコチル調査では小児の健康やアレルギーなどについての解析を行っている。熊本大学医学部卒業。エコチル調査熊本大学SUCの特任助教を経て、現職。

こ じま れいじ 小島 令嗣さん

エコチル調査甲信ユニットセンター
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座講師

講演者

専門は小児科学、アレルギー学、疫学・公衆衛生、母子保健。小児科専門医、アレルギー専門医(小児)、社会医学系指導医、日本医師会認定産業医。主に社会的要因とアレルギー疾患との関連をテーマにした研究を行っている。防衛医科大学校卒業。同小児科、自衛隊札幌病院などを経て、現職。

やま がた ぜん た ろう 山縣 然太郎さん

エコチル調査甲信ユニットセンター長
参加者コミュニケーション専門委員会委員長、戦略広報委員会委員長
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授

コーディネーター

専門は公衆衛生学、疫学、人類遺伝学。社会医学系専門医・指導医。地域で34年間に及ぶ出生コホート研究(甲州PJ)を実施中。研究ガバナンス、先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)小児科学講座留学などを経て現職。成育基本法の成育医療等協議会副座長など国の各種委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

おお や ゆきひろ 大矢 幸弘さん

エコチル調査メディカルサポートセンター長
国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長

パネリスト

小児科医でアレルギーが専門。疫学や行動医学を研究と診療に応用している。エコチル調査の質問票や医学的検査の開発を行うメディカルサポートセンターを率いている。名古屋大学医学部卒業、同小児科、国立名古屋病院小児科、国立小児病院アレルギー科、国立成育医療センターの初代アレルギー科医長を経て、現職。

かみ じま みちひろ 上島 通浩さん

エコチル調査愛知ユニットセンター長
エコチル調査運営委員会委員長
名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学教授

パネリスト

専門は衛生学。化学物質による健康リスクの解明をテーマに研究を行っている。エコチル調査では愛知ユニットセンター長、エコチル調査運営委員会委員長を、また、他に環境省中央環境審議会専門委員等も務める。東北大学医学部を卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校自然資源学部環境科学政策管理学講座客員研究員、名古屋大学大学院医学研究科環境労働衛生学准教授などを経て、現職。